



年の瀬を迎え、何かと慌ただしい時期となりました。

第2学期は、来週行う生活発表会とクリスマス会、お誕生会で終業となります。

今週は、年長児達の生活発表会総練習がありました。年長児達が取り組むオペレッタは、およそ30分と、幼稚園児の演目としては、超大作、です(笑) およそ1ヶ月間、毎日の「読み書き数字」の時間にどの子もじつくりと『台本』を読み込んできました。セリフカードを手に、朝と帰りの自由遊びの時間も園長・副園長をはじめ、たくさんの教師達の前で自分のセリフを披露して、意欲と自信も深めました。

♪♪♪ゆりぐみ「アラジン」♪♪♪

Disneyの名作「アラジン」をはるか先生らしくアレンジ…(笑)

ゆりぐみの子供達が皆さまをアラビアンナイトの世界へお連れします(笑) アラジン、ジーニー、ジャスミンはもちろん、登場するキャラクター全員が個性豊かに物語を彩ってくれます。アラジンとジャスミンが魔法の絨毯に乗って世界中を周るシーンは必見ですよ!!

29名、心を一つに頑張ります! お楽しみに(笑)



☆☆☆ももぐみ

「えんとつ町のプペル」☆☆☆

お笑い芸人西野亮廣が描いた大ヒット絵本… 独特な世界観をひとりひとりの個性を活かして、ひな先生が見事に演出します。ルピッチとプペルの友情、さらに父子の愛… ひな先生が子供達に伝えたいメッセージが詰まった作品に仕上がっていますよ☆ 可愛い踊り、カッコイイ踊り、笑えるシーンも… 子供達の表情、気持ちを込めたセリフにも注目して下さい(笑)



本日、発表会プログラム・入場券(座席券)・駐車許可証を配布致しました。発表会当日に必ずご持参頂く物になりますので、大切に保管されて下さい。

年少児は、シバの顔の指絵、年中児は、紙粘土のパパの顔、年長児は、紙粘土のブラブラ人形、を持ち帰っています。幼稚園生活の思い出としてお部屋の何処かに飾ってあげて下さい(笑)



△▼△きくぐみ

「ピーターパン」△▼△

個性派揃い、のきくぐみの子供達がお馴染みのキャラクターに扮し、コミカルに、そしてロマンティックに演じます! 一人一人が輝ける演出を考えた結果… 笑あり! 涙あり??の超大作になりました(笑) きくぐみ全員が『主役』です☆ 皆さんも一緒に『ネバーランド』で夢を見ましょう(笑)



遊びが不足すると…

子供の頃に「めちゃくちゃ勉強した!」とは言えなくても、立派な社会人となって、人生を謳歌している人は大勢います。でも、子供時代に友達との遊びの経験が乏しく、社会人として適応出来ず苦しんでいる人も大勢います。子供時代に「友達」との「遊び」が不足していることが大きく影響することは前号でも触れました。

ある勉強会に参加した際に、こんな話をしている先生がいました。「豊かさも自由もたっぷりある現代で、どうして子供が育ちにくい環境になってしまったのか?!」「学びたくても学ぶことができない子供がいた時代と学びたくないのに学ばなければならない高学歴社会の現代… どちらが子供にとって育ちやすいのか?!」「遊びの中で、友達から学び、友達に教え、そんな経験を積み重ねて、それから勉強に励むようになることが自然な姿なのに…」と、その方は言っていました。

子供は、同年齢の「友達」とたっぴりと『育ち合う(遊ぶ)こと』が大切です。私達大人は、子供が「大人から学ぶこと」を大きく評価し過ぎているのかもしれませんが、知識や技術が増えることはもちろん大切ですが、遊ぶことが『悪(罪)』であるかのような風潮の中で、「勉強、勉強」と育てられていることで、子供達の健全な育ちに弊害がでることは不幸なことです。

「遊び」は、努力や我慢から逃げるということではありません。共感や感動、責任・義務・道徳のような「社会性」を学ぶのに不可欠です。現代っ子の中には、勉強もできて、知識も豊かなのに、友達との会話に入らず、感情も乏しく、情緒も不安定な子供がたくさんいます。

故理事長がよく話していました。「自分の学校時代は、友達と、とにかく遊んだ! 友達がいたから学校が楽しかった! 勉強は、遊びの後かその合間にやっていた!」と…

その子が持つ可能性は無限です。でも、その可能性を引き出し、伸ばすのは、私達大人ではなく、「その子自身」です。勉強の成績や習い事も可能性を引き出し、伸ばすために大切なことで、その子の将来の大きな財産となりますが、友達との『育ち合い(遊び)』から学ぶ『社会性』も大きな財産となることは忘れてはいけません。

児童精神科医の先生は、「遊びは、自ら選んだ活動に『限界までの努力』、ができることで、自身の『適正』を知るための助走だ!」と言っています。

子供は、夢中になれることは全力で取り組みます。そして、その経験から「努力の面白さ・楽しさ」を体験します。幼児期に友達との『育ち合い(遊び)』から『社会性』を学び、努力の面白さ・楽しさを体験した子は、その先にある勉強での学びの中にある知識や技術の必要性を自らの意思で感じ、意欲的にそれらの課題に取り組むようになります。「勉強! 勉強!」と言う前に…「遊び」から学ぶ・経験する多くのことにも目を向けてあげなければなりません。